

## 行政案およびその他の方策について

委員意見 1 4案それぞれの評価+提案2案の評価を望む

【事務局補足】運営は通年の学校運営の経費。建設は初期投資及び施設補修費を数値化しているが、再編がなかったとしても、現有施設も将来的には建替が必要となる。

## 【事務局見解】

数値は現状とほぼ変更がない状態を3とし、度合いに応じて、改善を4～5、悪化を2～1とした。当該数値は、委員の求めに応じて便宜上数値化したものであり、当該数値で一概に評価できるものではない。また、行政案は1つであり、下記①～⑥が行政の第2案、第3案となり得るという趣旨ではない。

行政案	経費			通学		適正規模	適正配置	地域性	平均	特記事項
	建設	運営	バス運行	利便性	安全性					
行政案	1	4	2	上野台2、八景5 ⇒総合3	上野台4、八景4 ⇒総合4	5	4	3	3.3	・適正規模を確保し、上野台中・八景中の課題解消ができる
①松が丘を上野台中校区に	3	3	3 松が丘は徒歩又は自転車	上野台3、友が丘3、友が丘以外1 ⇒総合3	上野台3、友が丘3、友が丘以外2 ⇒総合3	1	3	3	2.8	・適正規模が確保できず、八景中の課題解消にならない ・松が丘の意向確認要
②松が丘、三輪を上野台中校区に	3	3	3 松が丘、三輪は徒歩又は自転車	上野台3、友が丘3、友が丘以外1、三輪1 ⇒総合2	上野台3、友が丘3、友が丘以外2、三輪1 ⇒総合2	5	2	3	2.9	・八景中の課題解消にならない ・多人数の通学が課題（三輪小から3.1km補助対象外） ・三輪、松が丘の意向確認要 ・上野台中学校に6小学校、八景中学校に1小学校となる（適正配置にも課題が生じる） ※バスの場合の数値を仮に記載しているが対象外
			1（バス）						4（バス）	
③上野台中をけやき台中に統合	3	4	2	上野台2	4（バス）	5	3	1	— (3.0)	協議できない ・八景中の課題解消にならない
④上野台中、藍中、長坂中を統合し新三田付近に新設	2	5	1	上野台2（概ねバス） 長坂2（一部自力） 藍2（バス） ⇒総合2	上野台4（概ねバス） 長坂3（一部自力） 藍4（バス） ⇒総合4	1	1	1	— (2.1)	協議できない・八景中の課題解消にならない ・適正規模を確保できず、新設校建設は適切でない ・区域が非常に広大（適正配置ではない） ・藍、長坂の意向確認要（特に藍中は困難が見込まれる）
⑤平岡委員案1 ④に加えて、松が丘小校区を追加	2	5	1	上野台2（概ねバス） 長坂2（一部自力） 藍2（バス） 松が丘3（自力） ⇒総合2	上野台4（概ねバス） 長坂3（一部自力） 藍4（バス） 松が丘3（自力） ⇒総合3	3	1	1	— (2.3)	協議できない下記以外は、上記④と同様 ・推計では令和14年度は適正規模（9学級）を確保 <以降の推計・R20に8cl、R22に7cl、R23～R25=6cl> ・将来的に適正規模を満たさない可能性が大きく、新設校建設は適切でない。松が丘の意向確認要
⑥平岡委員案2 ・上野台中を八景中学校の分校とし、八景中は移転せず建替え、交流機会を増やす。									—	分校の設置基準（中学校では3学年2学級以下）を満たさない

## 委員意見2 30人学級が実現すれば、統合校は適正規模を超過する可能性がある

(R9=23学級、R21=21学級 ⇒ ある程度余裕を持った学級編成が可能な規模での再編を検討する必要がある。)

### 【事務局見解】

- ・国の動向を見守る必要はあるが、少人数学級が実現するためには、全国の多くの学校で教室の増設、教員の確保などが必要となることから、早々に実現するとは考えにくい状況である。
- ・現時点で30人学級を念頭にクラス数を考え、それを基に学校再編の協議を進めることについては、適切ではないと考える。
- ・仮に30人学級が実現した場合であっても、生徒数自体に変更が生じるものではない。
- ・現在、基本方針でお示ししている適正規模については、40人学級をベースとして、クラス数を算出したものであり、30人学級が実現した場合には、適正規模の考え方や基準についても、教員配置基準や学校運営上の課題、その他社会情勢等を勘案し、その時点において再検討が必要となるものとする。

## 委員意見3 別紙テンプレートによる評価を望む

平岡委員が示された評価指標により点数化はしないが、点数化していない項目について下記のとおり考え方を示す。【 】内は事務局の回答である。

### ■弾力性（新型コロナのような不測の変化への対応）

- ・・・【その時々により必要な対応をしておき、不測の事態への対応を数値化することは困難である】

### ■予算（①一時費用、維持費用、②かかる費用を支払うための資金繰りができる確からしさ）

- ・・・【費用については、再編の判断をする際の主たる要素ではなく、当該経費について細かく議論することにより、子どもたちの教育環境の充実という主たる目的から議論が外れていくことが懸念される。予算については行政で責任をもって必要な調整等を行い、議会の審議、議決を経て実施していく】

### ■生徒への心理的、物理的負担

- ・・・【大規模校との統合、小規模校同士の統合、校区変更などによる生徒への負担等について一概に数値化することは困難である】

### ■顕在化している課題、解決の可能性

- ・・・【顕在化している適正規模、適正配置における課題及びその解決方法について提案しているものであり、行政案の是非を含めて検討を願うものである。顕在化している課題と解決の可能性については、適正規模、適正配置、通学の安全性や利便性などについて一定数値化してお示したところである。】

### ■他中学校の課題解決（主に長坂中学校、藍中学校）

- ・・・【長坂中学校と藍中学校の再編については、上野台、八景中学校再編地域協議会での協議の対象ではない。上野台中学校と藍・長坂中学校との統合については、校区が広くなりすぎる（適正配置ではない）ことから適切でない。また、松が丘小学校区を加えても、将来的に適正規模を下回る可能性があることから新設校の建設は適切ではなく、一方では八景中学校の課題解決にはならないことから、数値化してお示しできるものではない。】